

第6回 農業後継者りんご整枝剪定講習兼競技会（筆記試験）

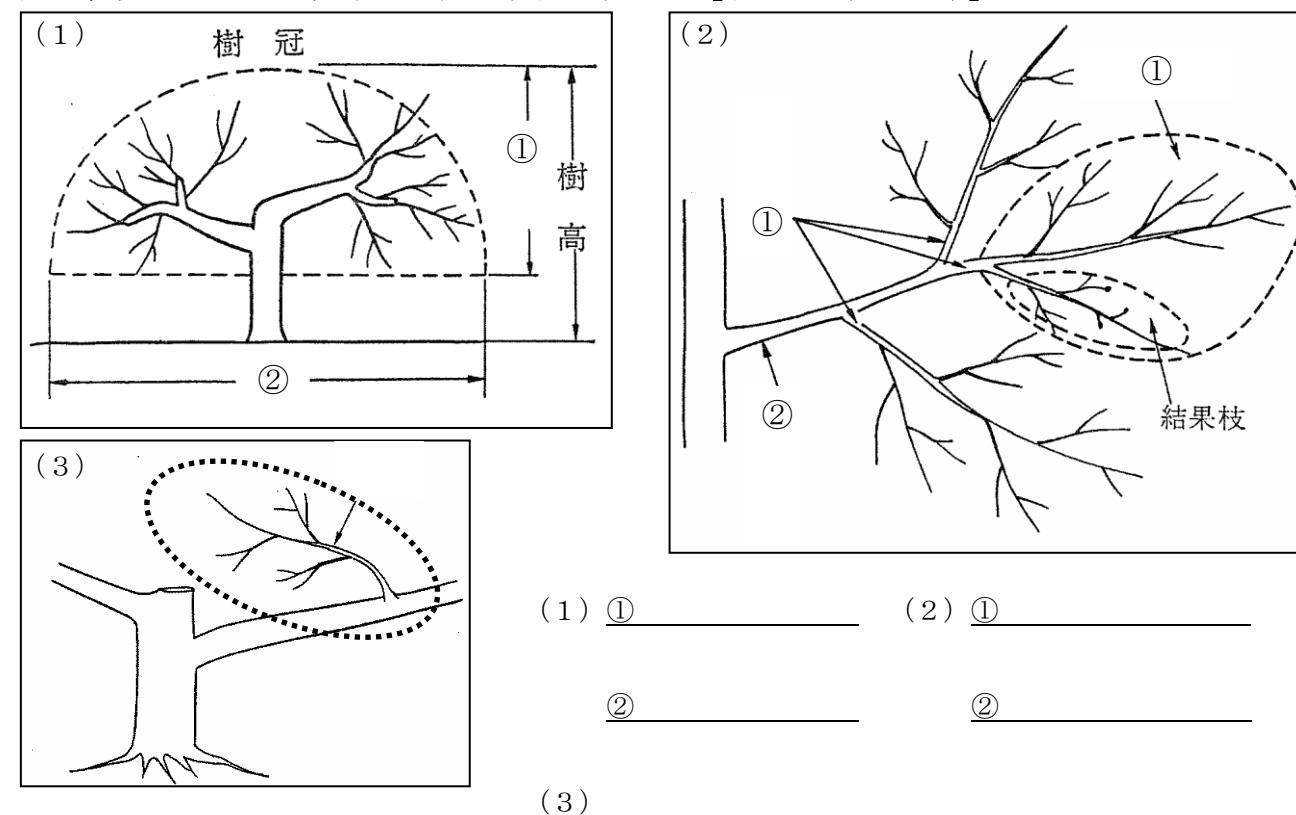
団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

問1、次の文章の（ ）内に適切な用語を下から選び、答えよ【各2点（30点）】

- (1) 一般に肥沃な土壌の樹は（ ）仕立て、瘦せた土壌の樹は（ ）仕立てとする。
- (2) りんごの生長は、枝葉の伸長を主とする「（ ）生長」と花を咲かせ果実をつける「（ ）生長」とに分けられる。
- (3) 一般に一年生枝の途中から剪去することを（ ）剪定、枝齢を問わず枝の基部から剪去することを（ ）剪定という。
- (4) 剪定作業は、（ ）⇒（ ）⇒（ ）の順に行う。
- (5) りんごの花芽形成は、主に（ ）月上旬頃から（ ）月下旬頃にかけて行われる。この時期まで摘果が遅れや（ ）の他、夏場の高温や（ ）といった天候によっても次年度の花芽形成に悪影響がでる。
- (6) 下垂し生産力の落ちた側枝を新しく更新するための枝を（ ）、先の旺盛な枝の生育を抑えて花芽形成を促すために基部付近から立てる枝を（ ）という。

4	5	7	8	粗抜き	鉗入れ	栄養	間引き	鉗入れ	共枝	予備枝
牽制枝	長幹	切り返し	中抜き	過剰着果	心抜き	日照不足	生殖	短幹		

問2、次の図にある番号の適切な名称を答えよ【各4点（20点）】



問3、次の説明文に合う用語を答えよ【各5点（20点）】

- (1) オーキシンとサイトカイニンの影響により、枝の頂端付近の芽から出た新梢が最も強く伸長し、下部の芽からの新梢の生長が抑制される現象。

答え：

- (2) そのままでは発芽しない芽や潜芽を発芽させるために、芽の上部の樹皮に木部へ達する傷をつける技術。わい化栽培や基部のはげ上がりつつある側枝などで行われる。

答え：

- (3) 強勢で花芽がつかない樹の樹勢を抑え花芽形成を促すために、幹へナイフなどで木部まで達する傷を1周又は螺旋状に1～3周つける技術。樹皮は取り除かない。

答え：

- (4) 雨滴で感染が広がり、側枝や下がり枝の腹部分にいぼ状の病斑が生じる病気。果実感染すると年輪のようく腐敗する輪紋病となる。

答え：

問4、次の問題に答えよ【各4点（20点）】

- (1) 1袋当たり20kgの有機質肥料（N15%、P5%、K5%配合）がある。

10a当たり窒素成分を15kg投入する場合は何袋必要か。

答え：

- (2) Aさんは、改植事業で20aの園地にわい性台苗木を植える予定です。

列間4.5m、樹間2.5mで植えるとして何本の苗木が必要でしょうか。

※小数点以下は切り下げる。

答え：

- (3) 下の説明に合う人物を線で結べ。

- ①りんご栽培の最初の苗木配布者であり試植者で青森りんごの開祖といわれる。
②明治中・後期の病害虫多発期に袋かけやボルドー液の散布などの普及に努め、りんごの神様といわれる。
③青森りんごの戦後復興の祖といわれ第2次大戦で荒廃したりんご園を復興するために先頭にたって運動した。

木村	甚弥
しぶかわ	でんじろう
齊藤	昌美
さいとう	まさみ
外崎	嘉七
とのさき	かしち
菊池	楯衛
きくち	たてえ

問5、整枝剪定の目的を答えよ【10点】
